

障子レールにおける渡りレール装置

実 願 昭 40-21864  
出 願 日 昭 40. 3. 20  
考 案 者 山西勇  
川崎市上小田中915  
出 願 人 不二サツシ工業株式会社  
川崎市中丸子135  
代 表 者 佐野友二  
代 理 人 弁理士 丹生藤吉 外2名

図面の簡単な説明

第1図は本考案の渡りレール装置を示す縦断側面図、第2～4図は渡りレールを示すもので第2図は縦断側面図、第3図は平面図、第4図は正面図である。第5～8図はレール支持体を示すもので第5図は側面図、第6図は平面図、第7図は正面図、第8図は第6、7図のⅢ-Ⅲ線における断面図である。

考案の詳細な説明

本考案は障子レールの一部を分割レールとして正規の線のレール位置から障子と共に一侧へ転移させる渡りレール装置に関するものである。

本考案の渡りレール装置は、例えば実願昭38-32900号(実公昭40-33259号)明細書および図面に記載の装置における分割レール5aと同様の効用をなすものであり、また例えば実願昭39-37497号(実公昭42-8785号)の明細書および図面に記載の装置における分割レール5と同様の効用をなすものである。

図面に示した実施例について説明すれば、第1図において1は窓枠の下枠を示し、2はこの下枠の上板1aに固定した障子レールを示す。3は障子レール2の一部を欠除した部分の長さを有する渡りレール、4は渡りレール3の支持体であつて渡りレール3はレールの基部3'の両側に張出翼片5、5'を、また下端には二又の脚片6、6'を一体に有する。支持体4は上面にレール基部3'の脚片6、6'を嵌合させ得る2条の凹溝7、7'を有し、両端に立上り軸受端板8、8が一体に設けられてこの支持体4は下枠1の底板1bに固定され、渡りレール基部3'を貫通する軸9

を支持体4の端板8、8に設けた逆へ形軸受孔10、10を貫通させて支持させ、渡りレール3の上部を下枠1の上板1aの開口13を貫いて突出させたものである。11は渡りレール基部3'の欠除部12内において軸9に嵌装し、一端を基部3'に他端を支持体4に係止させた螺旋ばねである。Aは障子、Bは障子車を示す。

常態すなわち障子を開閉移動させる状態では渡りレール3はばね11の作用で第1図の実線位置にあり、この状態では軸9は軸受端板8、8の軸孔10、10の一端へ移動し、レール基部3'の脚片6が支持体4の凹溝7に嵌入し、一侧の張出翼片5が下枠底板1bに受止められて一方へ傾斜しており、レール3の上端は障子レール2の上端と同一直線上にある(第1図Iの位置)。従つて障子車Bは障子レール2と渡りレール3との上を転動するから障子を開閉移動させることができる。

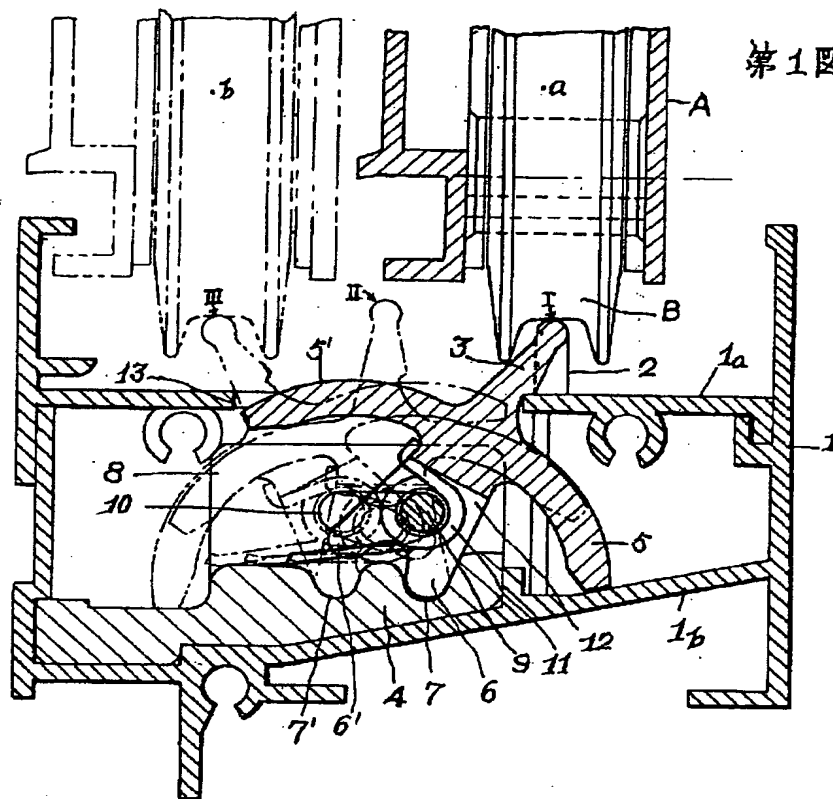
障子Aを閉鎖位置において密閉閉鎖するためにその開閉移動線上からそれに平行の位置へ転移させる場合には、障子車Bは渡りレール3の上に乗りつており、障子を転移方向に押出すと障子車を介して渡りレール3の上端もばね11の作用に抗して共に押圧される。この場合渡りレール3は軸9が軸受端板8、8の軸受孔10、10に案内されながら脚片6の下端を支点として反対側に傾き、鎖線Ⅱで示した中間位置を経て軸9は軸受孔10、10の他端に移り、脚片6'は支持体4の凹溝7'に嵌入し、張出翼片5'が支持体4を介して下枠底板1bに受止められ鎖線Ⅲで示す反対傾斜位置に受止められる。これによつて障子Aはaの位置からbの位置へ転移させられる。障子をbの位置からaの位置へ戻すには前記の操作と逆の操作を行うものである。

本考案によれば前記のように障子レールの一部を欠除した欠除部分を充足するに相当する長さの渡りレールの基部にその両側に張出翼片を設けると共に下端に二又脚片を設けてその脚片を、固定下枠に固定した支持体の上面に設けた二つの凹溝に嵌合させると共にレール基部に設けた突出軸を支持体に設けた案内長孔に嵌合させて一侧または他側に傾動自在に支持させ、レール基部にばねを作用させて一侧の張出翼片と固定下枠との係合に

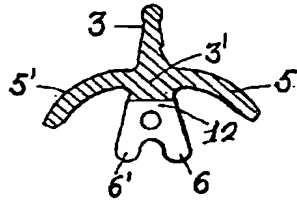
より一側への傾斜状態においてレール上端を障子レールと同一線上に位置させ、渡りレールをその長手方向と直角方向に傾動させることにより障子レールと同一直線位置から転移位置へ、およびその反対に転移させるようにしたので、障子の転移が円滑に行なわれると共に、いずれの転移位置においても渡りレールは支持体の凹溝に嵌合する下端の脚片と、固定枠に係合する張出翼片とにより支持されるからその支持が確実であり、渡りレールが突出する固定下枠の開口は渡りレールの何れの側への傾動位置においても張出翼片によつて閉塞されるものである。

#### 実用新案登録請求の範囲

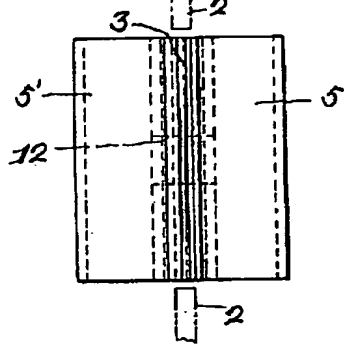
障子レールの一部を欠除した欠除部分を充足するに相当する長さの渡りレールの基部にその両側に張出翼片を設けると共に下端に二又脚片を設けてその脚片を、固定下枠に固定した支持体の上面に設けた二つの凹溝に嵌合させると共にレール基部に設けた突出軸を支持体に設けた案内長孔に嵌合させて一側または他側に傾動自在に支持させ、レール基部にばねを作用させて一側の張出翼片と固定下枠との係合により一側への傾斜状態においてレール上端を障子レールと同一線上に位置させた障子レールにおける渡りレール装置。



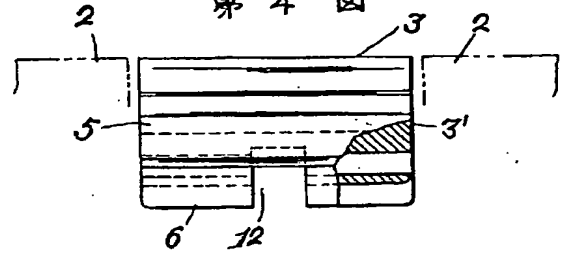
第 2 図



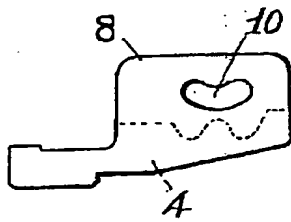
第 3 図



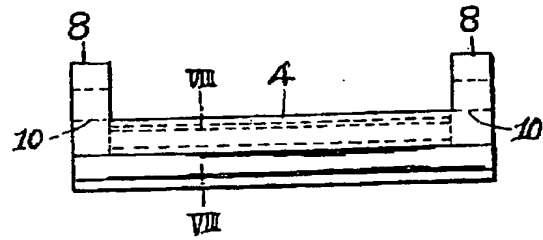
第 4 図



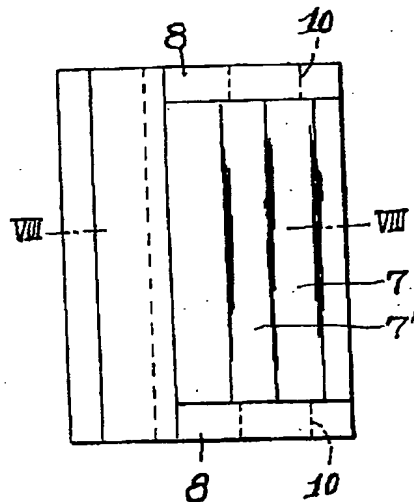
第 5 図



第 7 図



第 6 図



第 8 図

